



おすすめ児童書1月



啓林堂書店 外商部

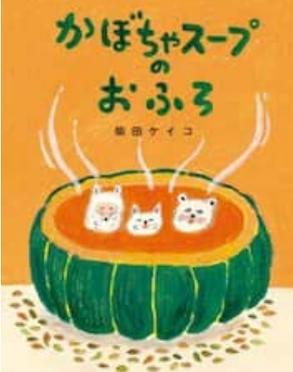
担当 森川・蔵田・八部・表野

Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151

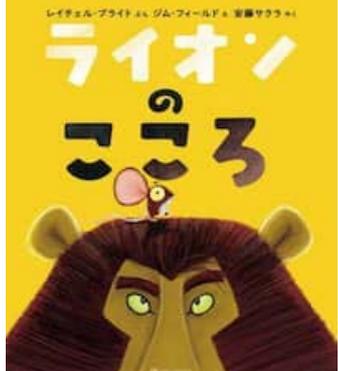
e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp

啓林堂書店HP <https://www.books-keirindo.co.jp>

▽ 幼稚園・保育園以上

	<p>かぼちゃスープのおふろ 作 柴田ケイコ ￥1,540</p> <p>ある、寒い日。くまとアルパカとねこの三匹はいつもと違う道を通って家に帰ることにしました。すると、「かぼちゃのスープのおふろ」を発見！入ってみたらポカポカ、あったか〜い。そして、とってもおいしそう。飲んじゃダメって書いてあったのに、思わずごくりと飲んでしまいました。白い毛並みの三匹はかぼちゃ色になって、色が落ちません。どうなっちゃう？</p> <p>ISBN 978-4-09-725207-8 小学館 : 2022年 発売</p>
	<p>おにぎりをつくる 文 高山なおみ 写真 長野陽一 ￥1,320</p> <p>おにぎりの作り方を教えてくれる写真絵本です。まず、お米を計って、洗って、炊飯器に入れてスイッチオン！炊けたら、さあ、にぎりますよー。大きい手なら大きなおにぎり、小さい手なら小さなおにぎりが出来上がります。自分で作ったおにぎり、おいしいだろうなあ。家族にも作ってあげたら喜ぶかな。</p> <p>ISBN 978-4-89309-667-8 ブロンズ新社 : 2020年 発売</p>

▽ 小学生以上

	<p>ライオンのこころ 文 レイチェル・ブライト 絵 ジム・フィールド 訳 安藤サクラ ￥1,650</p> <p>体が小さいネズミは声も小さい。だから、体も声も大きいライオンにすごく憧れています。どうしたらライオンみたいになれるのか、勇気をふりしぼって直接会って聞いてみることにします。いざ会ってみるとライオンにも苦手なことがありました。二人はおしゃべりをしてお互いのことを理解しあうことの大切さを感じます。体の大きさなんて関係ないんです。</p> <p>ISBN 978-4-910352-13-8 トゥーヴァージンズ : 2021年 発売</p>
	<p>十二支のはじまり 文 岩崎京子 画 二俣英五郎 ￥1,320</p> <p>十二支はねずみ、うし、とら・・・今年はずき年ですね。この動物はどのように決まったのでしょうか。神様がおふれを出します。「正月の朝、早く御殿に来た十二匹を、一年ずつその年の大将にする」動物たちは一番のりするためにいろいろ考えます。十二支にねこがない理由はねずみの一言みたいですよ。</p> <p>ISBN 978-4-7746-0409-1 教育画劇 : 1997年 発売</p>